

# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■ 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	28県住大宮植竹団地	階数	地上6F
建設地	さいたま市北区植竹町2丁目69-5	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	142 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 0.0	評価の実施日	2018年3月11日
敷地面積	5,508 m <sup>2</sup>	作成者	高橋設計 松田
建築面積	759 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月11日
延床面積	3,698 m <sup>2</sup>	確認者	高橋設計 高橋



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.1

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・当該敷地の持つ固有性を最大限に活かしながら、環境にやさしく、かつ近隣への影響(採光、通風、眺望等)も十分に配慮した計画とした。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
各住戸は南側又は西側に開口部を持ち、明るい住環境を確保している。またベランダの出を深くして、夏の日射を遮るようにしている。	設備配管は原則として躯体に打ち込んでいないので、交換・補修時の作業が容易である。	敷地内に緑地及び遊歩道を設けて健康的な空間を楽しむことができる。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
開口部は最小限の数として、熱負荷の低減に努めた。	・節水型衛生器具を採用している。建材は木材等の自然素材の一部に使用している。	・隣地住宅への影響を考慮し、建物高さはなるべく低く抑えた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される